

平成18年度収蔵作品(購入3点／受贈1点)

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法、素材
	【購入】				
1	狗巻賢二	作品(6)	1978	57×76	水彩・紙
2	狗巻賢二	作品(8)	1978	57×76	水彩・紙
3	加納光於	待つこと、それゆえにⅠ	1983	194×390.9	油彩・カンヴァス
	【受贈】				
No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法、素材
1	大森義夫	銚子外川風景	1929	24×33	油彩・板

◇加納光於(かのう みつお)は、独自の作品世界を通して戦後美術に大きな足跡を残し、当館の収蔵方針にもその名が明記され収蔵が望まれていた作家である。昨年度の版画作品、オブジェの収蔵に引き続き、体系的なコレクションを形成することを目的として、今回、80年代の油彩作品の代表作のひとつである「待つことそれゆえにⅠ」を収蔵した。

◇狗巻賢二(いぬまき けんじ)は、開館当初から収蔵方針に名前が明記され、作品の収蔵が望まれていた作家である。今回は、より厚みを持って紹介することを目的に、昨年度に引き続き収蔵した。

◇大森義夫(おおもり よしお)は、明治33年いわきに生まれ、東京美術学校油画科で学んだ。いわきの大正、昭和期の美術界を語る上で重要な作家である。